



通信

HP 学校だより
R5.9.28
NO.21
文責 伊藤美佳



自分ごととして

9月25日(月)に福祉実践教室を行いました。

1年生と2年生は手話、3年生はガイドヘルプ、4年生は車いす、5年生は高齢者疑似体験、6年生は点字を講師の方から学ぶことができました。昨年度までは、1年生は福祉実践教室を実施していませんでした。しかし、1年生から学ぶことが大切ではないかという思いから、今年度より手話を教えていただくことになりました。

体が不自由な方のことを、子どもたちが少しでも自分ごととして捉えられるように、体験を交えて教えていただきました。実際に手話をしたり、点字を打ったりすることでコミュニケーションの方法を、車いす補助をしたり、高齢者体験やガイドヘルプを体験することでお手伝いの仕方を、少しだけ学ぶことができたと思います。これをきっかけに、周囲の人々に興味関心をもって日常生活を送ってほしいです。

「こ」まっていると言える! 「こ」まっている人に手をさしのべられる! 大切です。



「あこがれ」見つけ

今週は、少し秋めいた気候となり、チャレンジタイムがスタートできました。また、体育でも相撲に元気よく取り組んでいる子どもたちの姿を見ると、つつい応援したくなります。

今年度は「第40回記念大会」です。昨年度、豊坂場所に来て、素晴らしい四股を見せてくれ、代表者戦を戦ってくれた柴田さんも来てくれます。

相撲の練習を始める前に、6年生が1年生に教えたり、縦割りでお互いに教える機会がありました。教えてくれる先輩を「あこがれ」のまなざしで見ると低学年の姿は印象的でした。自分たちが経験したことを次の学年に教えることで、「あこがれ」の存在となってくれたらうれしいです。すげ縄作りを6年生から教えてもらった5年生も「6年生すごいな」と感じたのではと思います。「あこがれ」見つけが進んでいる豊坂っ子です。

